

国際会議等の誘致

国際会議等（MICE）誘致推進事業

東日本大震災の発生以降、本県は「地震・津波・原発・風評」の4つの被害から立ち上がるために邁進しているところである。今後被害の克服を図り、復旧・復興を遂げていく中で、国際会議等を誘致し開催に結びつけることは、風評の払拭はもちろん、震災以降の福島イメージ回復を図り、更なる県の魅力の発信や観光・商工業・農業等も含めた地域経済の活性化のためにも絶好の機会になると考えられる。

このため、本県では外務省や観光庁などの中央官庁や日本政府観光局（JNTO）、関係機関への働きかけなどを行い、県内での国際会議等誘致に取り組んでいる。

さらに、本県で開催される国際会議等に際しては、風評の払拭及び県の魅力発信を目的に、視察コースの設定や案内、会議会場内における県復興状況等のパネル展示やプレゼンテーションの実施、観光・物産の展示、レセプションにおける県産品の利用などにより、参加者を通じて世界へ正しい情報を発信している。

1 県内における国際会議等開催実績

(単位：件数)

	国際会議(C)	国際ミーティング(M)	報奨旅行・ 研修旅行等(I)	展示会・ イベント等(E)	合計
令和4年度	17	0	12	2	31
	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)
令和5年度	14	1	23	2	40
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

※1 令和6年3月18日現在(国際課調べ)

※2 MICEはMeeting(企業等の会議)、Insentive Travel(企業等の行う報奨・研修旅行、(インセンティブ旅行))、Convenion(国際機関・団体、学会等が行う国際会議)、Exhibition/Event(展示会・見本市、イベント)の頭文字

※3 国際会議件数：日本政府観光局(JNTO)基準を参考に集計

※4 ()内はリモートのみで開催された国際会議等の件数

2 令和5年度の主な実績(①開催日 ②主催 ③開催地 ④規模 ⑤県対応)

- (1) ICRU(国際放射線単位測定委員会)国際シンポジウム「福島復興と放射線計測」
 - ①令和5年4月 ②福島国際研究教育機構、産業技術総合研究所、計量標準総合センター
 - ③いわき市 ④対面8カ国60名、リモート5カ国116名 ⑤対応なし
- (2) 一般社団法人日本顕微鏡歯科学会 第19回学術大会・総会
 - ①令和5年4月 ②一般社団法人日本顕微鏡歯科学会 ③郡山市
 - ④4カ国517名 ⑤対応なし
- (3) アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議
 - ①令和5年8月 ②APRIM2023組織委員会 ③郡山市
 - ④対面39カ国385名、リモート89名(参加国数は不明) ⑤知事祝辞、県PRブース設置
- (4) 第10回テラヘルツ関連デバイスと技術に関する国際会議
 - ①令和5年9月 ②国際会議TeraTech2023開催地組織委員会 ③会津若松市
 - ④対面13カ国78名、リモート14名(参加国数は不明) ⑤対応なし
- (5) 日本災害情報学会 第27回学会大会
 - ①令和5年10月 ②日本災害情報学会 ③福島市 ④3カ国240名 ⑤対応なし